

北澤 潤 Jun Kitazawa 「You are Me」

古都祝奈良

ことほぐなら

2019-2020

奈良市アートプロジェクト



*Momentary
or 51}*



*Momentary
Museum*

You



*Bridges
of the
Earth*

2020.
1.10 Fri. —
2.1 Sat.

会場

ならまちセンター
春日大社大宿所
餅飯殿センター街
平城宮跡 朱雀門ひろば ほか

インフォメーションセンター
春日大社大宿所

入場および参加無料



*Lost
Terminal*

*Fragment
passage*



あ な た は あ な た さ

目の前に、国籍も言語も肌の色も異なった人がいる。

相手と同時にそう感じていることだろうか、

どこから来たの？ 留学？ 仕事？

そう聞かれます、聞かされてなる。

あなたの街に、国に、社会にわたしがいるとき、
わたしは異質な特殊な言葉足らぬ他者になる。

わたしは、あなたの「あなた」になる。

逆もまた然り、你のかとしれたい。

けれどわたしが二つの街を、国を、社会を同時に、

「わたしの」と感じたいとせうとせうだろうか？

どうにいったって、わたしは「あなた」とされる。

逆に言えば、どこにいても「あなた」を「あなた」と呼ぶが、

わたしは「わたし」に帰っている。

がやこしくなってきた。

ではもしも、遠く離れた街が、文化の異なる二つの国が、

同時に二つとして存在していたら？

「ダブルな社会」があらわれたら？

その時を生きるわたしの「あなた」は「わたし」になる。

2019年6月27日

北澤潤



ことほぐなら

奈良市アートプロジェクト「古都祝奈良 2019-2020」では、インドネシアを拠点に活動するアーティスト北澤潤によるアートプロジェクトを奈良の街なかで展開します。

国内外のさまざまな地域の商店街や学校、団地などで、そこで過ごす人々とプロジェクトを行ってきた北澤は、わたしたちの日常を揺さぶる問いを投げかけてきました。今回は、三輪人力車、移動式屋台や鳥かごなどのインドネシアの事物を、創造的に捉え直すことで生まれた5つのプロジェクトを奈良に持ち込みます。異国の日常の時間や風景が重なるひとときを体験しながら、身近にいる「他者」との違いと共に過ごし、そこにある微かな重なりを見いだして楽しむ機会をつくりだします。

You are Me

北澤 潤 Jun Kitazawa

2020.
1.10 Fri. —
2.1 Sat.

会場
ならまちセンター
春日大社大宿所
餅殿センター街
平城宮跡 朱雀門ひろば ほか
インフォメーションセンター
春日大社大宿所

A. フラグメンツ・パッセージ FRAGMENTS PASSAGE

場所：春日大社大宿所
Kasuga-taisha Shrine Oshukusho



仮設の細道に足を踏み入れると、持ち寄ったものを自由に「おすそわけ」し合う市場が広がります。日に日に練り広げられるやりとりによって、通路(パッセージ)はものやひとが留まり行き交う不思議な空間へと変化していきます。インドネシアの伝統的な市場の風景から着想を得た本作が「You are Me」の中心となり、分け合い、共有することによるエコシステムをつくりだします。

*おすそわけ参加…むかし旅先で買ったお土産、気に入っていたけど使わなくなった日用品などぜひおすそわけを持って足をお運びください。
*「You are Me」インフォメーションセンターとして、MAPの配布や鑑賞のご案内も行っています。

B. 地球の鳥かご Birdcage of the Earth

場所：さるさわ遊歩道
Sarusawa Promenade



ジャワ島の路上にたくさん吊られている鳥かご。ジャワの職人がつくった鳥かごの布を地球の柄に差し替え、商店街から一歩入った路地に「地球の鳥かご」を吊り下げます。すべての生物を包むケージ(籠/檻)とも見える地球のイメージを用いることで人間と動物の間にある所有の関係を捉え直します。

C. ノーウェア・オアシス NOWHERE OASIS

場所：餅殿センター街周辺
Mochiidono shopping arcade



古都ジョグジャカルタに点在する移動式屋台「アングリンガン」が奈良の商店街に出現。同地の路上風景がプリントされた特製シートで覆われた屋台はインドネシアのインスタントドリンクを飲みながらつくる場となり、奈良の路上に「どこにもないオアシス」を生み出します。

製作：フェスティバルトーカー

D. ロスト・ターミナル LOST TERMINAL

場所：ならまちセンター芝生広場
Naramachi Center



インドネシアの路上を走る三輪人力車「ベチャ」をモデルに現地の職人と乗り物を製作。それを奈良まで輸送し、「失われた発着場」を作ります。北澤は、人びとが実際にこの乗り物に乗れる状況を生み出していくことで、かつて日本にもあった、活気に満ちあふれる路上の風景を描き出そうとします。

E. ひとときのミュージアム MOMENTARY MUSEUM

場所：平城宮跡 朱雀門ひろば
Nara Palace Site Suzaku-mon Hiroba Square



平城宮跡でアルファベットが描かれた限を参加者みんなで飛ばし、風景に「ひととき(momentary)」のメッセージを掲げます。ジャカルタ製の限は上げることすら難しく、メッセージが楽しくも響く浮かび消える様子は、ジャカルタの即興的で混沌とした文化への賛美を視覚化しています。

[申込] 公式ウェブサイト (<https://kotohogunara.jp/>) よりお申込みください。定員20名。先着・事前申込優先。参加無料。



北澤潤ドローイング展

日時：1月10日(金) - 2月1日(土) 11時-23時30分
会場：mellow cafe (奈良県奈良市小西町1-18 axe unit 1F)

プロジェクトの源泉となったインドネシアの日常を描いたドローイング作品などを展示。

関連イベント すべて参加無料・事前申込不要
※雨天決行、荒天の場合は中止

イベントカレンダー

※全て屋外でのプログラムのため、天候により内容の変更、延期または中止する可能性がございます。古都祝奈良 SNS 等でお知らせします。

アーティストと巡る作品鑑賞ツアー

日時：1月10日(金) 16時-17時
集合：春日大社大宿所
アーティスト北澤潤とともに4つの作品を徒歩で巡ります。

オープニングイベント

日時：1月10日(金) 17時-18時
会場：春日大社大宿所
障がいのある子どもたちがインドネシアの楽器「アングルン」を演奏する音楽サークル「con brio」が、一人一言を担当し、参加者も交えて全員で音と心をつないで、一つの楽曲を奏でます。

アングルン音楽クラブ con brio
con brioとは音楽用語で「生き生きと」。障がいのある子どもたちに音楽の楽しさ、楽器を奏でる喜びを感じてほしいと願い2011年結成。インドネシアの楽器「アングルン」を用い、「つなげよう 音もこころも」をテーマに活動している。

ベチャ & 人力車の試乗会

日時：1月25日(土) 10時30分-12時
集合：ならまちセンター芝生広場
ベテラン車夫の西條功也(観光人力車 やまと屋奈良)と北澤潤による、人力車とベチャそれぞれの仕組みや歴史、魅力についてのトークの後、実際に両方乗り比べてみます。

	A. フラグメンツ・パッセージ FRAGMENTS PASSAGE	B. 地球の鳥かご Birdcage of the Earth	C. ノーウェア・オアシス NOWHERE OASIS	D. ロスト・ターミナル LOST TERMINAL	E. ひとときのミュージアム MOMENTARY MUSEUM	関連イベント
	1/10(金)-2/1(土) 10時-17時	1/10(金)-2/1(土) いつでも鑑賞可能	1/10(金)-2/1(土) 14時-17時 ※火・木曜休み	1/10(金)-2/1(土) いつでも鑑賞可能	1/18(土) 14時-15時30分 雨天の場合は 1月19日(日)に延期	北澤潤ドローイング展 アーティストと巡る作品鑑賞ツアー オープニングイベント ベチャ&人力車の試乗会
1月	10(金) 11(土) 12(日) 13(月) 14(火) 15(水) 16(木) 17(金) 18(土) 19(日) 20(月) 21(火) 22(水) 23(木) 24(金) 25(土) 26(日) 27(月) 28(火) 29(水) 30(木) 31(金)					
2月	1(土)					

「You are Me」プロジェクトメンバー

期間中は、北澤とともに共同でプロジェクトを行うメンバーが、インドネシアと国内から集い、奈良に滞在します。アーティスト、建築家、アートマネージャー、コーディネーター、インストーラーといったさまざまな専門性を持ったメンバーが、その立場や国籍を越えた集団として、「あなたはわたし」を体現しながらプロジェクトを盛り上げていきます。



北澤 潤 Jun Kitazawa

美術家。ジョグジャカルタ拠点。さまざまな国や地域でのフィールドワークを通して「ありえるはずの社会」の姿を構想し、多様な人びととの立場を越えた協働によるその現実化のプロセスを芸術実践として試みる。2016年、米経済誌Forbes「30 Under 30 Asia」アート部門選出。



アニーサ・プトリ・チンデラカシ
Annisa Putri Cinderakasih

コミュニティとの協働や参加型のプロジェクトに関心をもち、「FrogHouse Community Space」などで数々の建築プロジェクトを手がける。自身によるプラットフォーム Ambara Kembara としても活動。



ムニフ・ラフィ・ズディ
Munif Rafi Zuhdi

主に版画を軸にした作品を制作している。2019年には、「Pekan Seni Grafis Yogyakarta」(ソブドヨ博物館、ジョグジャカルタ)や「Storytelling Collective」(Synesthesia、ニューヨーク)などに参加。



エレオノラ・A・ユアニタ
Eleonora A. Yuanita

アートマネジメントを専門とし、ジョグジャカルタでさまざまなアートイベントやギャラリーの運営に携わりながら、アートと他分野が重なる領域で仕事を続けている。フリーランスの翻訳家としても活動。

ミヤタクキ Yuki Miyata

芸術家、コーディネーター、ディレクター。2013年に茨城県常陸太田市水府地区に移住し、様々な領域を横断し活動している。ロクロクリン管理人。「水府コイノボリプロジェクト」「芸術会議」「井戸端アート教室」ディレクター。十和田市現代美術館/普及事業マネージャーなど。

津田翔平 Shohei Tsuda

現代美術家、実験建築家、グラフィックデザイナー、ノイズレーベルUNNOISELESS主宰。空間における個人の存在を探究する実験や、既にそこに在る事象を志向/拡張することで意識と無意識を反転させるアーティスト。その作品群には、一貫して解体/測量/再構築といわれる建築的要素が含まれている。

菊池政也 Masaya Kikuchi

菊池建築工業三代目棟梁。2013年よりアーティストと関わるようになり、美術館や地方芸術祭などで共同制作を重ねてきた。主な仕事に、水戸美術館「藤森照信展-自然を生かした建築と路上観察」、十和田市現代美術館「ウソから出た、まこと」、KENPO-KUART2016など。

お問い合わせ

奈良市アートプロジェクト実行委員会事務局 (奈良市役所 文化振興課内)

〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1-1

TEL: 0742-34-4942 (プログラム開催時のみ 080-7995-5440) / FAX: 0742-34-4728

E-mail: art@city.nara.lg.jp

Facebook: www.facebook.com/naracityart/

Twitter: @naracity_art

Instagram: @naracity_art

奈良市アートプロジェクト「古都祝奈良」公式ウェブサイト <https://kotohogunara.jp/>



主催: 奈良市アートプロジェクト実行委員会、奈良市

後援: 在大阪インドネシア共和国総領事館、奈良県立大学

協力: アンクルン音楽クラブ con brio、春日大社、

奈良市下御門商店街協同組合、奈良もちいどのセンター街協同組合、

日本・インドネシア友好協会奈良、平城宮跡管理センター、

吉田勝紀、mellow cafe

企画・制作: 西尾美也、西尾咲子

広報: 多胡真佐子、西谷枝里子 (リレーリレー)

デザイン: 赤井佑輔、青柳美穂



2019年度文化庁

文化芸術創造拠点形成事業